

このたびは、クラニシ製品をご購入いただきありがとうございます。いつまでも快適にご使用いただくために、NT-636についてご説明いたします。

NT-636は、1.8~54MHzで使用するアンテナチューナです。最大入力max 200W対応で、「入力2回路、出力4回路」、1本のアンテナで多バンド運用するための「ファジーマッチ機能/3.5~54MHz対応」を装備しています。

### ■ 特徴

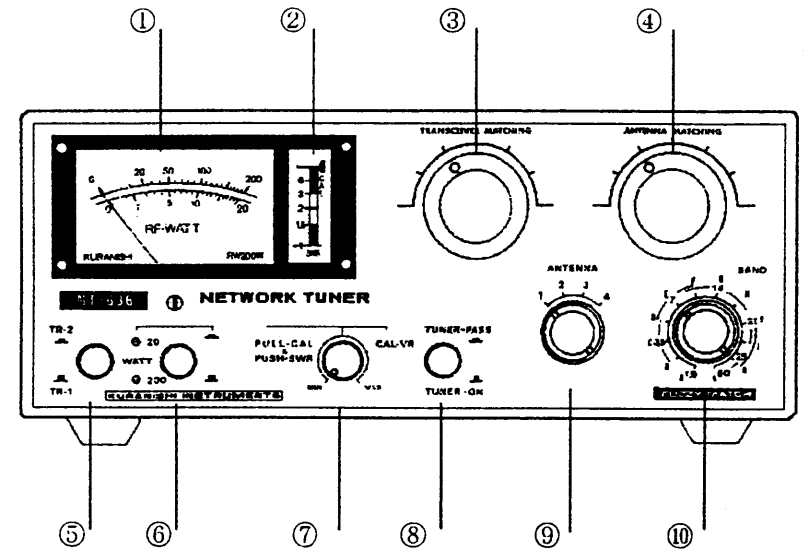
- 入力2回路/出力4回路  
2台の送信機を接続して、4本のアンテナを切り替えて運用することができます。
- ファジーマッチ機能  
L可変（コイルのタップが多い）、C可変のファジーマッチ機能は、センターローディング、トップローディング、フルサイズ（ローディング無し）のアンテナがあれば、1本のアンテナでの多バンド運用が可能です。

### ■ 規格

- ◎ 測定回路
- 周波数範囲 1.8~54MHz
- インピーダンス 50Ω系
- SWR測定 1:1~1:∞
- 電力測定 0.5~200W（20W/200W切替）
- 指示確度 FS±10%以内
- ◎ チューナ部
- 周波数帯域 1.8~54MHz  
（ファジーマッチ機能は、3.5~54MHz対応）
- 最大入力 200WPEP
- 出力インピーダンス 10~250Ω（21MHz以上 8~300Ω）
- ◎ 機構、他
- コネクタ M形
- 外観寸法 H100 W235 D250 m/m
- 重量 2.8kg

### 前面パネル

- ① 電力指示メータ：進行波電力を指示する  
（CALツマミを引けば反射波電力を指示）
- ② SWR指示メータ：SWR値を指示する
- ③ トランシーバ・マッチング：送信機側のマッチング用バリコンを調整するツマミ
- ④ アンテナ・マッチング：アンテナ側のマッチング用バリコンを調整するツマミ



- ⑤ 入力セレクタ：2台の送信機を切り替えて使用するスイッチです（TR-1/TR-2）
- ⑥ 電力レンジ切替：電力測定フルスケールを20W/200Wに切り替えます
- ⑦ ワンポイント・CAL（キャル）：  
キャリブレーションボリュームとCAL/SWR切替スイッチが一体構造になっています。ツマミを手前に引き時計方向に回してSWRメータのCAL点に指針をセットします。その位置でツマミを軽く押し込めばSWRを指示します。
- ⑧ チューナ・スイッチ  
TUNER-ON：チューナ部を使用して、SWRを最良の状態に調整します